

製品安全データシート

作成：2013年12月27日
改訂：2022年05月12日
確認：2022年05月12日

1. 化学品及び会社情報

製品名	HISCL SP-A 試薬 [HISCL SP-A R1 試薬、HISCL SP-A R2 試薬、HISCL SP-A R3 試薬]
推奨用途	臨床検査測定用
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
緊急連絡先	シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911 (代表) FAX：(078) 992-7330

[HISCL SP-A R1 試薬]

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	
物理化学的危険性	該当なし
健康に対する有害性	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2(中枢神経系)
環境に対する有害性	
水生環境有毒性 短期(急性)	区分 3
GHS ラベル要素	
危険有害性を表す絵表示	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	H319 強い眼刺激 H371 中枢神経系の障害の恐れ H402 水生生物に有害
注意書き	
安全対策	P260 ミスト/蒸気を吸入しないこと。
応急措置	なし
保管	なし
廃棄	なし
他の危険有害性	アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物
化学的特性に関する情報	水溶液
危険有害成分	労働安全衛生法の対象物質は含んでいません。本品にはアジ化ナトリウムが含まれていますが、法的には毒物として取扱われません。

化学名又は一般名	アジ化ナトリウム	ドデシル硫酸ナトリウム
濃度(範囲)	($\leq 0.1\%$ W/W)	(約 1.5% W/W)
化学式	NaN ₃	C ₁₂ H ₂₅ O ₄ S.Na
CAS 番号	26628-22-8	151-21-3
労働安全衛生法政令番号	該当しない	該当しない
PRTR 法政令番号	該当しない	第一種 政令番号 1-275 第一種 政令番号 1-318 (令和 5 年 4 月 1 日以降)
毒物及び劇物取締法	該当しない	該当しない

4.応急措置

吸入した場合	必要なら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	接触部位を水と石鹼でよく洗う。かゆみ、炎症等皮膚刺激の症状が生じた場合、速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	清浄な流水で、15 分以上洗眼し、直ちに眼科医の診断を受ける。
飲込んだ場合	水でよく口中を洗浄し、必要なら医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護	情報なし

5.火災時の措置

適切な消火剤	水、粉末、泡、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の消火方法	情報なし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	情報なし

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	指示なし
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、ウエス、雑巾等によくふき取り適切な廃棄容器に回収する。
二次災害の防止策	情報なし

7.取扱い及び保管上の注意

取扱	
技術的対策	正しく測定するために添付文書をお読みください。
局所排気・全体換気	情報なし
安全取扱注意事項	情報なし
接触回避	情報なし
衛生対策	情報なし
保管	
安全な保管条件	2～8℃で保管する(凍結禁止)。
安全な容器包装材料	情報なし

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度	情報なし
許容濃度	
日本産業衛生学会	情報なし
ACGIH	情報なし
設備対策	特に必要ない
保護具	
呼吸用保護具	特に必要ない

手の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣など

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色～淡黄色
臭い	無臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	7.4
動粘性率	データなし
溶解度	水に易溶
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	約 1.1
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の手扱いで安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性があります。
避けるべき条件	金属、鉛、銅との長時間の接触
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	アジ化ナトリウム純物質として:ラット経口 LD ₅₀ 27 mg/kg ドデシル硫酸ナトリウム(以下 SDS と略)純物質として:ラット経口 LD ₅₀ 1200 mg/kg (SIDS(1991))
皮膚腐食性/刺激性	SDS 純物質として:ウサギを用いた皮膚刺激性・腐食性試験 (OECD TG 404, GLP)において、PII:6.0, 6.78 から「highly irritating」(ECETOC TR66(1995)、IUCLID(2000))と記述されている。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	SDS 純物質として:ウサギを用いた眼刺激性・腐食性試験 (OECD TG 405, GLP)において、「Modified Maximum Average Scores: 16.00; moderately irritating、59.17; irritating、60.50; irritating」(ECETOC TR48(1992)、IUCLID(2000))と記述されている。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし

生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	SDS 純物質として:ラットを用いた 2 週間混餌投与試験において「肝臓重量増加がみられたラットの病理組織検査で、肝細胞がわずかに腫脹し分裂肝細胞数が増加していた。これらは本物質の投与に順応したものと考えられる。また、腎尿細管の上皮細胞の空胞変性、腎糸球体の萎縮がみられた」(EHC 169(1996))旨の記述がある。
誤えん有害性	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	SDS 純物質として:甲殻類(アメリカンロブスター)の 96 時間 LC ₅₀ =0.72mg/L(SIDS, 1997)。
残留性・分解性	SDS 純物質として:急速分解性があり(SIDS, 1997)
生態蓄積性	SDS 純物質として:生物蓄積性が無い(LogKow=1.6, PHYSPROP)
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	水質汚濁防止法等の規制及び各都道府県の条例等に留意して処理してください。 行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。
---	---

[HISCL SP-A R2 試薬、HISCL SP-A R3 試薬]

2.危険有害性の要約

GHS 分類の記載	
物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	区分に該当しない
GHS ラベル要素	
危険有害性を表す絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし
GHS 分類に該当しない危険有害性	アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性があります。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物
化学的特性に関する情報	水溶液
危険有害成分	PRTR 法及び労働安全衛生法の対象物質は含んでいません。本品にはアジ化ナトリウムが含まれていますが、法的には毒物として取扱われません。成分内容はキット中の添付文書をご覧ください。
化学名又は一般名 濃度(範囲)	アジ化ナトリウム (≦0.1% W/W)
化学式	NaN ₃
CAS 番号	26628-22-8
労働安全衛生法政令番号	該当しない
PRTR 法政令番号	該当しない

4.応急措置

吸入した場合	必要なら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	接触部位を水と石鹼でよく洗う。かゆみ、炎症等皮膚刺激の症状が生じた場合、速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	清浄な流水で、15分以上洗眼し、直ちに眼科医の診断を受ける。
飲込んだ場合	水でよく口中を洗浄し、必要なら医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし

5.火災時の措置

適切な消火剤	水、粉末、泡、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の消火方法	情報なし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	情報なし

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	水拭き後、消毒用アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウム液等で拭き取る。
環境に対する注意事項	周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、ウエス、雑巾等でよくふき取り適切な廃棄容器に回収する。
二次災害の防止策	情報なし

7.取扱い及び保管上の注意

取扱	
技術的対策	正しく測定するために添付文書をお読みください。
局所排気・全体換気	情報なし
安全取扱注意事項	情報なし
接触回避	情報なし
衛生対策	情報なし
保管	
安全な保管条件	2～8℃で保管する(凍結禁止)。
安全な容器包装材料	情報なし

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度	情報なし
許容濃度	
日本産業衛生学会	情報なし
ACGIH	情報なし
設備対策	特に必要ない
保護具	
呼吸用保護具	特に必要ない
手の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣など

9.物理的及び化学的性質

物理状態	[HISCL SP-A R2 試薬] 懸濁液	[HISCL SP-A R3 試薬] 液体
------	---------------------------	--------------------------

色	褐色	無色～淡黄色
臭い	無臭	無臭
融点/凝固点	データなし	データなし
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし	データなし
可燃性	データなし	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし	データなし
引火点	データなし	データなし
自然発火点	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし
pH	6.5	6.5
動粘性率	データなし	データなし
溶解度	水に易溶	水に易溶
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし	データなし
蒸気圧	データなし	データなし
密度及び/又は相対密度	約 1.0	約 1.0
相対ガス密度	データなし	データなし
粒子特性	データなし	データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の手扱いで安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性があります。
避けるべき条件	金属、鉛、銅との長時間の接触
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	アジ化ナトリウム純物質として:ラット経口 LD ₅₀ 27 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	水質汚濁防止法等の規制及び各都道府県の条例等に留意して処理してください。 行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。
---	---

[HISCL SP-A R1 試薬、HISCL SP-A R2 試薬、HISCL SP-A R3 試薬]共通

14. 輸送上の注意

国際規則	
国際航空機輸送協会危険物規則 (ICAO/IATA)	該当しない
国際海上危険物規則	該当しない
国内規制	
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
陸上規制情報	該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	運搬に際しては、転倒落下、損傷を来さず、横倒しないよう積み込み、荷崩れを防止してください。

15. 適用法令

適用法令		
薬機法	体外診断用医薬品 アジ化ナトリウム	ドデシル硫酸ナトリウム
労働安全衛生法	該当しない	該当しない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当しない	該当:第1種 1-275 第1種 1-318 (令和5年4月1日以降)
毒物及び劇物取締法	該当しない	該当しない
化審法	該当:1類 1-482 難分解性、低濃縮性	該当:官報整理番号 2-1679 良分解性
消防法	該当しない	該当しない
大気汚染防止法	該当しない	該当しない
水質汚濁防止法	該当しない	該当しない
水道法	該当しない	該当しない
下水道法	該当しない	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない	該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当しない	該当しない

16. その他の情報

一般的注意	ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。
その他の情報 略語	[注意]本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。 PRTR 法:特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 化審法:化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 薬機法:医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律